



ラスボスの思想(17)



小さな勇気

春日信彦



目次

ラスボスの思想 (17)	1
------------------------	---

ラスボスの思想 (17)

1

小さな勇気

人は、何を考えて生きていくべきなのでしょう?誰しも、毎日を楽ししく生きていきたいことでしょう。だから、心の奥に潜む「不安感や恐怖感」には触れたくないものです。でも、人というものは、心の底に潜んでいる「不安感や恐怖感」に動かされて生きているのです。

例えば、自分の行いが「多くの人の命」にとって良くないとわかっていても、もしそうしなければ、会社をクビになるとか、地位を失うとか、名誉を失うとか、経済的な損失を被るとか、そういう状況に追い込まれることがある。そういう状況によって引き起こされる「不安感と恐怖感」に動かされて、「多くの人の命」にとっては悪いことであるとわかっていても、やむなく、悪事を実行することは多々あることです。

誰しも、人のためになることやりたいものです。でも、自分が不利になるような状況になれば、「不安感と恐怖感」に押しつぶされて、悪事を働くものなのです。これが人間なのです。

2

我々は、生を受けた時から、マネーゲームシステムに組み込まれて生きていかざるを得ません。だから、否応なしに、共食い戦争に加担させられるのです。でも、全人類の生命が脅かされるような状況に陥ったならば、誰かが、全人類の命を守るために、マネーゲームシステムを無視してでも、命をなげうってでも、人類を脅かす敵と戦わざるを得ないように思えます。

果たして、このような神のような人は現れるのでしょうか？ 確かに、神のような人は現れないかもしれません。でも、誰しも、「小さな勇気」は持っています。小さな勇気が集まれば、奇跡が起きるかもしれません。

誰しも、「不安感と恐怖感」には、触れたくありません。でも、「小さな勇気」で「不安感と恐怖感」を見つめてみてはどうでしょうか？そして、「小さな勇気」で自分にできることをやってみてはどうでしょうか？私は、きっと、奇跡が起きると信じています。

3

一休閃颯

*バモス芸 サーブ&ボレー マッケンロー

*みな違う やれることから やってみる

*人のため つくせることは 多すぎる

*共生は 違いを認める 心から

*親がいて 幸福知らず 子供たち

*夜空には ジョンに寄り添う リンゴ星

*痛み止め 使いすぎると 認知症

*みななもの 油断するなよ テレビには

*リアフット 腰椎動かす 震源地

*ユーチューバー 和製キプチョゲ 現れる

4

*人はみな 無駄な恐怖を 貯金する

*大和武士 タムチョンマゲ 明日を切る

*ニューロンと グリア細胞 お友達

*コロナ君 足もないのに 踊ってる

*時は知る 短所という名の 革命家

*天才は 孤独を楽しむ 楽天家

*金持って 天国行っても 使えない

*週二回 ビタミン補給に オーツ麦

*日本犬 シッポフリフリ 与病接種

*ジョコビッチ 歴史に残る 勇者なり

5

*白マスク 雑巾よりも 不潔なり

*和久食えば 鐘が鳴るなり お仏壇

*子供らは 春待ちわびて 桜散る

*フォアフット 猿真似しても 落馬かな

*牛と人 薬物反応 ドーピング

*日本犬 増えすぎたのか 殺処分

*人はみな 恐怖心の 奴隷なり

*知らぬ間に 利用される 芸能人

*テレビっ子 バーチャル落ちて 安楽死

*忠犬は 爆弾めがけて かけていく

6

*暗闇に 音を感じて 時を待つ

*心電図 一本線に 涙する

*コンピュータ 電気なければ 粗大ごみ

*学歴は 知性じゃないよ 麻薬です

*知能犯 地球乗っ取り 何をする

*何もない こんなに強い ものはない

*涙目に 小さな勇気 きっとある

*恐怖感 麻薬に逃げて 安楽死

*戦時下で 走って喜ぶ 子供たち

*世界地図 日本国が 消えている

ラスボスの思想(17)

著 春日信彦

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
